

麻生区区民会議 第14回 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨

1 開催日時：平成25年11月11日（月）午後6時00分～午後8時35分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[専門部会委員]

石井委員、金光委員、菅野委員、高橋（慶）委員、高橋（庸）委員、東川委員、矢野委員、山田委員

[事務局]

鈴木企画課長、白石担当係長、藤江、桑原

4 傍聴者 1名

5 議事

(1) 企画部会からの報告事項

【説明事項】

※金光委員より、企画部会での協議事項について報告があった。主な内容は以下の通り。

(安全・安心のまちづくり部会)

- ・モデル事業のスケジュール提示があった。事業実施は11月を予定。
- ・10/28にモデル事業説明会が開催され、14名の参加があった。応募世帯数は19世帯。内訳は戸建て12世帯、マンション7世帯。質疑応答においては、モデル事業を監修されている園田教授からの具体的な施工についての説明などがあった。

(報告書作成について)

- ・全体構成として、第1章～第5章、資料編をあわせて、第3期より10ページ少ない50ページ程度を想定している。第3章の各部会の取組、第5章の提言部分については各部会で作成し、それ以外は事務局がたたき台を作成する段取り。
- ・スケジュールとしては、2月の全体会に、第5章の提言部分以外を盛り込んだ報告書（案）を提出し、その後、企画部会で修正を行うとともに、安全・安心部会についてはモデル事業評価後、若者部会については子育てフェスタ終了後に提言を作成し、5月12日（月）18時～合同部会（勉強会）にて意見交換を行うことを予定している。その後、5/26（月）全体会で報告書最終案の承認を得て、6月に完成するスケジュールである。

(2) 調査審議課題等について

1) 「芸術・文化のまちづくり」

【説明事項】

※ワーキングチーム③代表・武濤委員が欠席のため、石井委員より、資料4「芸術・文化のまちづくり」ワーキンググループ経過報告をもとに、提言の方向性について説明があった。主な内容は以下の通り。

①第3期区民会議フォローアップ

(文化担当官・麻生文化会議の設置)

- 1) 新市長の意向を踏まえて、文化担当官・麻生文化会議の設置目的、担うべき役割、活動の方向性を検討することを確認

(情報発信・活性化：景観条例見直し)

- 1) ポスター設置等の申請方法等について調査整理し、関連団体にわかりやすいチャートのようなものを作成するか検討
- 2) 人通りの多い公開空地や民地への広報物設置など、地域と行政の協力による情報発信・活性化方策の検討

②第4期区民会議新規提言

(若者や子どもなど多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくり)

- 1) 「第1回あさ子育てフェスタ」における、子育て世代が楽しめる芸術文化活動を一覧表示については、事務局を通じた行政の情報収集、及び芸術文化活動団体からの情報収集・リスト化を行う予定
- 2) 「第1回あさ子育てフェスタ」への大学生の若者が参加する場の設置については、麻生区6大学連携に基づく企画課の協力を得て依頼する
- 3) 「若者が住みたくなるまちづくり」についての意見聴取については、「子育てフェスタ」実施予定アンケートに設問を入れ、結果を検討し、提言に組み込む予定（質問項目は12月3日のワーキングチームで検討）

【主な意見】

- ・ アンケート設計の視点には、芸術文化の「担い手」と「聴衆」の2通りの視点をから、検討すべき。
- ・ 「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」として「子育て」にフォーカスしたので、余りテーマを広げないで子育てをメインにしたアンケートにすべき。

【決定事項】

- ・ ワーキングチーム③は今後、資料4の内容を掘り下げていく。

2) 「子育てしやすい環境づくり」

A. 子育てしやすい環境づくりに関する提言について

【説明事項】

※ワーキングチーム②代表・山田委員より、資料3をもとに、提言検討の経過報告があった。主な内容は以下の通り。

- ・ 「子育てしやすい環境づくり」のテーマにおいては、これまで抽出した課題解決策として「子育てフェスタ」以外の提言についても、以下のとおり検討している。

(子育て支援・サービス)

区内子育て支援施設はあるものの、現場からはまだ不足しているとの声がある。休日等に父親も含めた親子が室内で遊べる施設・事業の拡充が必要である。

⇒地域間格差、人材・人件費も課題

(預けられる場所・病後児保育等)

事前申請が必要であったり、緊急で預けられる施設はない。

⇒地域（自治会、町連等）のコミュニティで保育ニーズを広く受け入れる仕組み、環境づくりが必要

(子育て相談)

7月から児童家庭課に保育士が設置されているが、子育て相談体制をさらに充実させていくことが必要

(公園・遊ぶ場所)

プレイパークは対象が小学生以上⇒今回のテーマからは外れるか。人材や公園近隣居住者の理解と協力（騒音等）が必要。土・日曜日に保育園施設開放がされていなければ開放を。

(情報発信)

情報紙の作成に子育て中の親が参加できるように、情報が隅々まで行き届くよう情報発信の方策を検討

(親同士の交流)

子育て支援のためのママカフェの設置。市民活動支援センターやまゆりを子育て世代にも開放する

(保育園・文化施設)

保育園の増設、定員増問題は認可・無認可支援充実等多様な方策の中で解決
学校の図書館は開放されており、活用してもらうための情報発信が必要

(子育てと仕事の両立)

イクメンが子どもを連れて遊びに行ける場所、イベント等の仕組みを充実

(保育人材)

今後は、有償ボランティア（高齢者含む）育成の制度（研修・派遣等）づくりを自治体を中心となり実施する

【主な意見】

- ・麻生区には公園はたくさんあるが、情報発信の工夫が必要では。
- ・子どもが遊べる公園マップの作成をしてはどうか。
 - 「きゅっとハグあさお」に公園マップが掲載されている。
 - ウォーキングマップにも公園は掲載されているが、行きづらい。
 - 新住民は知らない可能性がある。
 - イクメンが子どもを連れて遊べる場所とも関連し、土日に親子が遊べる場所という視点で紹介するのはどうか。
 - ⇒「子どもと遊べる公園マップ」など、キメ細かい情報発信はどうか。文京区の情報は大変キメ細かくわかりやすい。
 - ⇒子どもの遊び声は騒音と敬遠されがちであるが、地域の理解を得ていくことが必要ではないか。「（子どもの声に）寛容な麻生区」というのはどうか。
- ・麻生区にもこどもパークができると良い。
- ・親同士の交流について、こども文化センターの開放もされているが、積極利用の

ための案内が欲しい。

- ・麻生区の子育て支援の「目玉」を打ち出す必要がある。まだ他の地域で取り組まれているものを提言したい。
- ・資料3のテーマは、「安心・楽しい・助かる」のキーワードでも分類すべき。

【決定事項】

- ・麻生区が目玉となるような提言を打ち出す方向で検討を深める。方向性のヒントとしては、キメ細かい情報発信、子どもの声に地域の理解を得る、ボランティアの協力、など。

B. (仮称) 子育てフェスタについて

【説明事項】

※ワーキングチーム①代表・高橋庸委員より、資料2-1～2-3をもとに、あさお子育てフェスタの企画提案があった。主な内容は以下の通り。

- ・あさお子育てフェスタ企画検討について
各催し(案)の担当者は、企画シートにより、詳細な内容、タイムスケジュール、会場レイアウト等を企画する。
- ・あさお子育てフェスタ概要(案)、協力団体への依頼文(案)、開催概要(案)について説明
- ・子育てフェスタ検討スケジュール
12月中までに関係団体への協力要請を行い、1月以降、協力団体に向けた説明会の実施を行い、協力団体と区民会議が調整しながら企画を進める。広報は、3月の区民会議ニュース、市政だより3月号掲載、区ホームページでの広報、地域メディアへの投げ込みを予定

【主な意見】

(協力団体へのアプローチ)

- ・協力団体には早めにアプローチすべきである。
- ・12/13日を第一回の参加申し込み期限にしてはどうか。
⇒そのためには、早く協力先をまわる必要がある。
協力先への依頼は、ワーキングチームだけでは対応が困難であれば、部会メンバーに支援を要請してはどうか。
- ・大学へのアプローチは、6大学ではなく昭和音大だけなのはなぜか。田園調布大学には保育課があるので、検討してはどうか。
- ・開催概要、依頼文・協力内容・申し込み用紙、スケジュールの内容は基本的に良いのではないか。
- ・依頼文には、日時や支援の種類(Aポスター提供もしくはB運営・催しへの協力)など、一通りの概要が記載されている方が良いのでは。
- ・11/18、認可保育園園長会があるが、訪問・依頼については、菅原委員と調整する

必要がある（認可外は年度内に今後の開催予定がないため個別に対応する他ない）

（絵の展示）

- ・1月に、区役所に認可保育園年長児の絵を飾る企画があり、それらの絵をあさお子育てフェスタでも展示できる可能性がある。

（説明会）

- ・1月の部会で、子育てフェスタの骨子を決定し、1月中旬に協力団体への説明会を開催する方向でどうか。

【決定事項】

- ・協力団体の第1回参加申し込み期限は、12月13日とする。
- ・協力団体へ依頼する際に配布する資料（依頼文、開催概要、協力内容、申込書）は、11月13日までに確定。事務局が印刷して用意し、各担当者が企画課へ受け取りに行く。
- ・依頼文には、開催概要を一通り盛り込む。
- ・市民館への挨拶は、11/27（水）10:00～とする。
- ・各担当者は企画シートを作成し、12月の部会で提案する。
- ・説明会開催は1月中旬とする。

（3）その他

※特になし

以上